

乳がん高リスクの同定 (Gail モデル)

乳がん罹患したことのない健常人に対する乳がんのリスクを知ることは、乳がんの2次予防（早期発見）において重要です。Gail モデルとは年齢、初潮年齢、初産年齢、第1度近親者の乳がん患者数、乳腺生検回数、ADH(atypical hyperplasia:異型腺上皮過形成)の有無から個人の乳がんの発生危険率を統計学的に計算するモデルで NIC(National Cancer Institute、<http://www.cancer.gov/>)のホームページからアクセスできます。

Gail モデルは乳がんの既往がある場合や BRCA の変異が確認されている女性、Cowden 症候群や Li-Fraumeni 症候群の女性ではリスクが低く算出されることに注意が必要です。また、基本的にアメリカの疫学調査 (BCDDP : Breast Cancer Detection and Demonstration project, SEER : surveillance, Epidemiology, and End Result)に基づいていること、人種項目で選択できる Asian や Pacific Islander はアメリカ在住の女性についてであることなどは、日本在住の日本人が使用する際には注意が必要です。(乳がんの危険因子と遺伝的素因、生活様式の項目参照)